

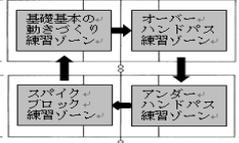
授業デザインシート

3年全	教科	数学	授業者	桑代 純也 元山 亘 山本 工	本時	演習
単元・教材名	図形領域（円・相似・三平方の定理）				場所	3年1組・2組・3組 教室
指導目標	円周角や二等辺三角形の性質を活用して角の大きさや線分の長さを求めることができる。					
「主体的・対話的で深い学び」を目指す共通実践事項						
①基礎基本の確認 ②声出し・先読み ③学び合いの学習 ④自分の言葉で説明 ⑤一問のチャレンジ						
	主な学習活動	場 時間	共通 実践	指導上の留意点		
導入	1 既習事項の確認を行う。 2 学習目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">円の問題に挑もう！</div>	3分	①	○ パネルを掲示し、声に出させて確認をさせる。		
展開	3 課題1を解く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">$\angle DAC=48^\circ$ のとき $\angle ACD$, $\angle CBF$, $\angle CDB$ の大きさを求めなさい。</div> 4 自力解決できなければ、周りに尋ねて解決を図る。 <div style="text-align: center;"> </div>	個 4分 グ 3分 全 8分	③ ③④	○ はじめは個で考えさせ、状況を見ながらグループを作る。 ○ 7~8割ぐらいの生徒が解けたことを確認し、全員起立させ、分からない生徒が分かる生徒のところへ行って解決を図らせる。 ※ 人に聞けない生徒へは、解決した生徒とつなぐようにする。 ※ 聞かれた生徒は丁寧に説明させるようにする。		
展開	5 解いた内容を全体で確認をする。	一斉 5分	②④	○ 全員が解決したら、数名を指名し、解説をさせる。		
展開	6 課題2を解く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">AEとBFの交点をGとし、$OA=5$, $OG=2.5$のとき、BGの長さを求め</div> 7 自力解決できなければ、周りに尋ねて解決を図る。 8 全体で確認をする。	個 4分 全 13分 一斉 5分	③④ ②	○ 課題1の流れで進めていく。 ○ 必要に応じてヒントを出し、意欲的に取り組めるようにする。 ○ 教師はできるだけしゃべらず、生徒同士で解決できるようにさせる。 ○ 全体で声に出させて確認をする。		
終末	9 本時の内容のポイントを確認し、ノートにまとめる。(まとめ)	5分	①	○ パネルを使って再度、定理や相似条件等を確認させる。		

授業デザインシート

1年1組	教科	英語	授業者	前原千代美	本時	4 / 8
単元・教材名	New Horizon English Course 1 Unit11 Part2 体験したことを伝えよう				場所	1年1組教室
指導目標	過去形や既習事項を用いて、自分の思いを英語で表現することができるようにする。【話すこと】【聞くこと】					
「主体的・対話的で深い学び」を目指す共通実践事項						
①基礎基本の確認 ②声出し・先読み ③学び合いの学習 ④自分の言葉で説明 ⑤一問のチャレンジ						
	主な学習活動	時間	共通実践	指導上の留意点		
導入	1 Greeting 元気よくあいさつをする。 Student teacherが日付, 天気, 時間を質問し, それに対して答える。3ヒントクイズを出題し, 答える。	一斉 4分	①②	<ul style="list-style-type: none"> Student teacherの質問に答えながら, 日付, 天気, 時間の確認をさせる。 3ヒントクイズで既習事項を確認させる。 		
	2 Warm up すらすら英会話でコミュニケーション活動を行う。	ペア 4分	①	<ul style="list-style-type: none"> canを使った対話を通して積極的に話したり聞いたりする雰囲気をつくる。 		
	3 Review 前時の学習内容を想起させる。	一斉 3分	②	<ul style="list-style-type: none"> Interactionを通して前時の内容を想起させる。 		
	4 Today's Goal <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">大会後の光太の思いをキャプテンに英語で伝えよう。</div>	一斉 1分		<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題を確認させる。 		
展開	5 Listening 本文を通して聞くことで内容を再度確認する。	一斉 1分		<ul style="list-style-type: none"> 前時に学習した内容の要点をつかませる。 		
	6 Retelling 本文の概要を自分の言葉で説明し合う。	ペア 4分	③④	<ul style="list-style-type: none"> 前時に暗唱した内容やこれまで学習した表現を使って, 自分の言葉で積極的に本文の内容を説明させる。 		
	7 Speaking ペアでキャプテン役とKota役に分かれて試合後の対話をさせる。	ペア 3分	③④	<ul style="list-style-type: none"> キャプテン役は読むのではなく, 自分の言葉に近づけるよう, 感情を込めた話し方に気をつけさせる。 Kota役は間違いを恐れることなく, メッセージが伝わるよう意欲を持たせる。 		
	8 Group work グループで試合後のキャプテンとKotaのやり取りを考えさせる。	グループ 10分	④	<ul style="list-style-type: none"> ペアで対話したことを活用しながら, 広げたり深めたりさせる。キーワード等をメモさせる。 発表練習をさせる。 		
	9 Presentation グループで考えた対話を発表する。発表を聞いてコメントをする。	グループ 12分	④	<ul style="list-style-type: none"> グループで考えた内容に対して補充の説明やさらに一言加えられるよう考えさせる。 		
	10 学習した内容から自分なりに光太としての思いを英語で書く。	個人 3分	⑤	<ul style="list-style-type: none"> 間違いを恐れず積極的に書かせる。 		
終末	11 Reflection 自己評価用紙に本日の振り返りを記入する。	個人 4分		<ul style="list-style-type: none"> 本時を振り返ってできるようになったこと, なぜそれができるようになったのか振り返らせる。 		
	12 Greeting	1分				

授業デザインシート

2年1組・2組男子	教科	保健体育	授業者	古園健人	本時	11/12
単元・教材名	球技（バレーボール）			場所	鹿屋中学校体育館	
指導目標	○ 今まで学習した技能を生かし、仲間と連携して優位にゲームを展開することができる。（知識及び技能） ○ ゲームの中で自己やチームの課題をグループ内で共有し、その後のゲームに生かすことができる。 （思考力・判断力・表現力）					
「主体的・対話的で深い学び」を目指す共通実践事項						
①基礎基本の確認 ②声出し・先読み ③学び合いの学習 ④自分の言葉で説明 ⑤一問のチャレンジ						
	主な学習活動	場 時間	共通 実践	指導上の留意点		
導入	1 準備，安全点検をする。 2 整列，あいさつ，健康観察をする。 3 準備運動を行う。 ・ ランニング （半周前半：オーバーハンドの形） （半周後半：アンダーハンドリフティング） ・ 準備運動・ストレッチ 4 補強運動を行う。（1分×4）  5 前時までの復習と本時の目標，学習の流れについて確認する。 学習課題 今まで学習した技能を生かし，仲間と連携して優位にゲームを展開するためにはどうすればよいか。	一斉 (1分) 一斉 (3分) グループ (4分) 一斉 (5分)	② ① ①②	・ 場の安全と欠席者，見学者を把握し，生徒の状態を観察する。 ・ 仲間と交流し，自他の心身の状態に気づかせながら行わせる。 ・ 生徒全員の活動量を確保し，周囲の安全に注意させて行わせる。 ・ 本時の目標や学習の流れを理解させ，学習の見通しを持たせる。		
	6 ゲームⅠをする。 ・ 6人制ルール ・ 試合時間は8分 ・ ローテーション有り ・ サーブはアンダーハンドサービスまたは投げ入れで始める ・ 相互審判でゲームを進める ・ 各チームからアナリスト1人	グループ (8分)		・ ゲームで起こる反則については，相互審判であるため，フェアプレイの精神に則って行えるようにする。 ※ タッチネットやパッシング・ザ・センターラインは厳しく。 （生徒の安全を確保させる。）		
	7 中間ミーティング及び課題解決分析をする。 8 ゲームⅡをする。 ・ ルールはゲームⅠと同じ ・ アナリストも試合に出場する ・ チームの作戦を実行する	グループ (8分) グループ (8分)	③④ ③④	・ チーム毎に撮影した動画を（ゲーム記録）を分析し，課題を見つけ，次の試合へ向けた作戦を共有できるように支援する。 ・ 中間ミーティングで共有した作戦がゲームⅡに生かせるように支援をする。		
終末	9 本時を振り返り，評価・反省をする。 ・ ゲームⅡを振り返り意見交換をする ・ バレーボールノートを活用する	グループ (6分)	③④	・ チームの作戦が上手くいったチーム，上手くいかなかったチームに発表させ，全体で共有させる。		
	10 全体で発表会をする。	一斉 (4分)	③④	・ 発表しなかったチームに助言をする。		
	11 次時での活動の見通しをもつ。 ・ 一問チャレンジを出題する 12 整列，あいさつ，健康観察をする。	一斉 (2分) 一斉 (1分)	⑤ ⑤	・ 次時の学習内容につながるポイントや目標を伝え，更なる学習意欲を図る。 ・ 生徒の体調を確認し，バレーボールノートを回収する。		